

I 組織の使命

圏域の産業および物流を支え、国内外の海上輸送網の拠点となっている「港湾」については、多様な機能が調和し、それらが連携する中で質の高い港湾空間を形成するため、秩序ある整備と適正な運営を図ります。

また、外貿コンテナ等の物流機能の拡充や、クルーズ船の受入体制の強化とともに、ポートセールスに努め、道南圏を後背圏とした流通や人的交流の拠点となる港の形成を目指します。

本市の総合交通体系の一翼を担い、地域経済・文化の活性化を図るうえで重要な「空港」については、航空需要に対応した施設の整備を促進します。また、空港機能の強化を図るため、国際・国内航空路線の拡充や、空港周辺地域住民の生活安定および福祉の向上に寄与するために、空港周辺の環境整備に努めます。

II 組織の基本方針

- 新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況下において、引き続き港湾や空港での水際対策に取り組み、感染拡大防止に努めるものとし、運航が再開された国内クルーズ船に係わる、感染予防対策を船社と連携して行い、安全・安心なクルーズ船の寄港を進めていきます。
- 港湾については、国際観光・交流拠点の創造、豊かで活力ある地域社会と経済環境の創造などの多様な要請に対処するため、「賑わいと親しみあふれる活力ある函館港」を目指し、平成17年(2005年)に改訂した港湾計画等に基づき、若松地区の旅客船ふ頭や旅客ターミナル、弁天地区の緑地などの港湾施設の整備を進めます。
- 空港については、コロナ禍による運休が続いているものの、引き続き国内線利用者の回復が図られるよう、空港運営会社や経済界と連携しながら就航路線のPRに努めるとともに、国の政策を注視しながら国際線の再開に備え、関係機関と協議を進め、利用者の早期回復を目指していきます。

III 年度評価 総評

新型コロナウイルス感染症に関し、港湾や空港において注意喚起や各種感染防止対策に取り組むなど、市民の安全・安心の確保に努めました。

クルーズ船の寄港再開については、策定されたガイドラインに基づき、地元関係者の参画した協議会による寄港受入の合意形成を図り、国内・国際クルーズ船の寄港再開に繋げました。

港湾については、若松地区の旅客船ふ頭の本格供用開始に向けた泊地浚渫や旅客ターミナルの整備が完了したほか、弁天地区の緑地の整備や既存施設の補修を継続的に進めるなど、港湾機能の充実を着実に図りました。

空港については、コロナ禍により国際定期便の運休が続いておりましたが、再開に向けて市・市議会・経済界によるトップセールスなどを実施し、タイガーエア台湾による運航再開が発表されました。また、国内線の利用率については、コロナ禍前の9割程度まで回復しました。

今後におきましても、引き続き港湾機能の充実にも努めるとともに、積極的なポートセールス活動を継続し、港湾貨物の集荷やクルーズ船の寄港増に努めるとともに、空港の利用促進に向けた取り組みや国際線の運航再開に向けた航空会社への要望活動を実施し、既存路線の維持や安定運航、利用拡大に向けて取り組んでまいります。

区 分	担当課	評価	評価の説明
1 新型コロナウイルス感染症への対策と施策の展開			
①港湾および空港における水際対策（関係機関との連携）	管理課 港湾空港振興課	B	・引き続き，関係機関と連携した水際対策を行った。
②国内クルーズ船の受入れ拡大	港湾空港振興課	B	・国内クルーズ船が8回寄港した。
③港湾貨物の集荷強化，コンテナ航路の利用促進	港湾空港振興課	B	・外貿コンテナ航路の休止は続いているが，内貿コンテナ個数については例年並みが確保された。
④国内航空路線の利用促進，国際航空路線の再開支援	港湾空港振興課	B	・国内線は，コロナ禍前の約9割まで回復した。 ・国際線は，1社の再開が発表された。
2 港湾施設の充実			
①若松地区の旅客船ふ頭および旅客ターミナル整備	港湾課	B	・大型クルーズ船の受入環境の整備を図るため，泊地浚渫の促進のほか旅客ターミナルの整備を推進し完了した。
②弁天地区の港湾機能および緑地整備	港湾課	B	・緑地護岸の改良工事等を行い，国際水産・海洋都市構想の拠点としての周辺環境の整備を推進した。
③中央ふ頭上屋の建替整備	港湾課	B	・老朽化した上屋の解体跡地において荷さばき地舗装を行った。
④既存施設の改良・補修等	港湾課	B	・既存施設の機能の維持・延命化を図るため，本港地区の西防波堤の改良や道路改良，西ふ頭地区の岸壁等改良，大町地区の道路改良，豊川・若松地区の照明灯の取換，中央ふ頭地区の橋梁補修，北ふ頭地区の道路改良設計，港町地区の新規クレーンの整備，コンテナ蔵置場の舗装修繕などを行った。
⑤榎法華港の機能向上	港湾課	B	・既存防波護岸の改良整備を行い，榎法華港の機能向上を図った。
3 空港機能の充実			
①空港運営会社との連携による路線拡充・再開	港湾空港振興課	B	・空港運営会社とも連携するなかでトップセールスなどを実施し，国際路線について，1社の再開が発表された。
②空港施設の整備促進	港湾空港振興課	B	・国内幹線空港にふさわしい施設の整備が進められた。